



学校だより

都立王子特別支援学校 校長 下島 啓道

〒114-0033 北区十条台1-8-41 TEL3909-8777

校長 下島 啓道 (ひろみち)

冒頭に、この度大阪の地震で被災された方々にお見舞い申し上げるとともに、亡くなられた方々に心よりお悔やみ申し上げます。災害は日頃からの注意が必要です。本校でも7月6日に1年生対象に宿泊防災訓練を実施します。

1学期もあっという間に7月に入りました。終業式も目の前です。1年生も高等部の学習や部活動などにも慣れてきたころだと思います。通学の緊張も和らぎ落ち着いてきた様子が見えます。

先日新聞紙上で興味深い言葉を見つけました。「子育て四訓」というのだそうです。次のような内容でした。紹介します。

「乳児はしっかり肌を離すな。幼児は肌を離せ手を離すな。少年は手を離せ目を離すな。青年は目を離せ心を離すな。」

子供はすぐに大きくなり、親の思いを聞いてくれない時もありますが、心を離すとどこに飛んでいくかわからない時代です。現代の社会は自由で安全なようであり、思いもかけない危険が潜みます。夏季休業中は特に「心を離さず」寄り添っていきましょう。

さて、この夏は本校の校舎も様々な工事が行われます。外壁工事や空調設備工事、新校舎への渡り廊下貫通工事などです。保護者控室も天井張り替えなどでご迷惑をおかけいたします。

夏まつりを控えPTAの活動も忙しいことと思います。学校とPTAとが連携して準備を進め、楽しい夏まつりを迎えたいと思います。よろしくお願いいたします。

< 1年生 >

学校経営計画の最重点目標に「各学級において、成長を確認できる将来を語る取組」があります。この度、ミニストップ王子本町店に交流や実習等の連携をしていただくことになり、その一つとして、七夕の時期に、店舗に装飾する際の短冊づくりの協力を依頼されました。

生徒たちも、実習激励会を終え、先輩たちの実習先から自分自身の将来の姿を少しずつ考え始めているので、身近な将来や夢について考える一つの機会として、短冊づくりに取り組んでいます。

「京浜東北線の運転士になれますように」「お母さんみたいな人になれますように」「家族が元気でいられますように」など、個性あふれる素敵な願いごとが書かれています。機会がありましたら、ぜひご覧ください。

< 2年生 >

6月19日に校外学習に出かけました。9月の北海道修学旅行に向け飛行場や飛行機について学習してきました。

朝の集合場所を確認し機体整備場では間近に飛行機を見学できました。偶然ですが整備場で卒業生が働いている姿を多数みかけ、社会で立派に活躍する卒業生の様子に、我々も感動しました。「僕も飛行場で働きたい！」と夢を新たにした生徒もいたようです。



< 3年生 >

現場実習始まる!!

卒業後の進路を決定するために福祉、企業へと第1期現場実習が始まりました。実習に向けて、在校生の皆さんに実習激励会を開いていただきました。**3年生ガン・パレ**



実習と同時に**職場面接**も始まりました。





「防災への取り組み」

生活指導部 八重樫大

近年日本で起きている熊本地震、東日本大震災は、最大震度7というとても大きな地震でした。最近では、大阪のほか千葉など関東においても地震が起きています。いつ起こるかわからない、しかし必ず起こる地震や自然災害。その非常事態に備え、本校では毎月の避難訓練を実施しています。また被災し、避難所での生活をしなければならなくなった時のために、一泊二日の宿泊防災訓練を7月に行います。

毎月の避難訓練では、地震、火災などさまざまな状況を想定し避難訓練を行っています。避難経路に何らかの障害がある場合の避難経路、火災の時、地震の時の初期対応など繰り返し練習することで落ち着いて行動できる力を培います。また、宿泊防災訓練は一学年生徒が行います。日常体験しづらい、教室での就寝訓練、アルファ米などの非常食の食事を体験したり、王子消防署の協力で実際に起きた地震のDVDを観たり、AEDの使い方講習など被災時の避難所生活で役立つこと学んだりする予定です。

このように、本校では生徒や教職員が防災意識をもち、災害が起きても落ち着いた行動がとれるように防災への取り組みをおこなっています。学校間での取り組みとしては、北特別支援学校、王子第二特別支援学校、王子特別支援学校の3校合同で、防災推進委員会を年2回・研修会を年1回開催しています。北区・王子消防署・王子警察・地域町会・地域関連施設・PTAが会し、防災への相互理解や災害時の協力体制についての連携を深め非常事態に備えています。

「1学期の外部専門家」

主幹教諭 湊 映子

研究研修部・・・ たすく(株)の先生にお越しいただき、1年生を中心にアセスメントを行っています。授業観察をして、生徒の様子も観ていただき、アセスメントの結果を担任と話す時間を設け、指導に生かしています。また、年度の初めの研修で、教員向けに障害特性の理解と指導について、お話をさせていただきました。昨年まで3カ年計画ですすめてきた新たな進路指導開発の研究に引き続き、進路に生かせるアセスメントTTAPをとっていただき、今後どのように取り組むかを明確にして、進路指導に生かしています。また、体の取組としてPT(理学療法)を取り入れ、定期的に体の状態を確認し訓練の方法等を共有できるようにしています。

支援部・・・ 毎週相談ができるようにしています。生徒は悩みや、困り感を相談しながら、学校生活に適應できるようになっています。生徒の相談だけでなく、保護者の方の相談も行っています。

作業学習・・・ クリーン班、農園芸班、食品加工班にそれぞれ企業の方に定期的に起こしいただき、教員の専門性の向上を図っています。クリーン班は除菌清掃を取り入れ、専門の道具や薬品を使って清掃するやり方を教えていただき、正確にスピーディーに除菌清掃ができるようになっていきます。農園芸班では、ガーデニングサポーターより、専門的なアドバイスを受け、校内の美化に役立っています。食品加工班では、フジパスタ(株)のパン製造のプロに指導を受け、パンの質の向上につながり、メニューも増えています。

☆本校のホームページの更新の紹介☆



- ・障害のある児童、生徒の理解推進研修事業【夏季研修会】のご案内
- ・30王子ニュース・平成30年度理解教育推進事業報告書
- ・給食の紹介
- ・30年度時間割
- ・今月の学校便り4号